

令和3年度 南丹市健幸・食育レシピコンテスト事業報告

◆取組み目的

南丹市では、子ども達がメニューの作成や調理を通して健康な食生活を考え、食の関心を深めるとともに、子ども達のレシピで健幸なまちづくりに繋がる取組として、小中学校の児童・生徒を対象に「第2回南丹市健幸・食育レシピコンテスト」を開催。子どもたちの考案したレシピが、市内小中学校の給食メニューやの飲食店で活用できるよう計画し、市内全体が子ども達のレシピで健幸に繋がる事を目的として取組む。

◆応募テーマ

「めざせ！ぼくも、わたしも野菜シェフ！」

～みんなのレシピで家族やまちを元気に見ませんか～を応募テーマとし、身近な野菜を使ったレシピを令和3年7月～9月30日まで作品募集

◆応募数

417 作品（小学生部門：47 作品 中学生部門：370 作品）【令和2年度応募数 216 作品】

◆1次審査

南丹市立小中学校栄養教諭 5 名、南丹市学校教育課食のコーディネーター1 名、保健医療課管理栄養士 2 名による書類審査をおこない各部門（小学生部門、中学生部門）より合計 10 作品を審査基準に基づき決定

◆2次審査

審査員 10 名（南丹市商工会長、南丹市商工会青年部委員長、南丹市立中学校栄養教諭 2 名、南丹市食生活改善推進員協議会長、南丹市健幸まちづくり推進協議会委員、南丹市食育実践者南丹市健康増進食育推進計画庁内推進委員会 食育推進部会長、南丹市学校教育課食のコーディネーター1 名、南丹市福祉保健部長）による、書類および試食審査をおこない、各部門（小学生部門、中学生部門）より最優秀賞、優秀賞、全体より学校給食賞を決定



審査員長 南丹市商工会 寺田会長（中央右）
南丹市食生活改善推進員協議会より 小崎委員（左から2番目）



南丹市健幸まちづくり推進協議会 小泉委員
（右から1番目）

◆表彰式

令和4年3月15日(火)、オンラインによる表彰式開催

出席者：各小中学校より4名参加(胡麻郷小、園部小、八木東小、殿田中)、市長室にて西村市長、木村教育長、寺田商工会長出席

西村市長より、表彰状と記念品が授与

◆給食レシピへの展開

学校給食賞を受賞された作品「シャキシャキごぼうサラダ」は令和4年2月に、「夏野菜入り肉じゃが」についても令和4年7月の南丹市内の小中学校の給食で提供された。



令和4年2月21日 八木中学校給食より
「シャキシャキごぼうサラダ」献立
(八木中学校より写真提供)



令和4年7月4日 八木中学校給食より
「夏野菜入り肉じゃが」献立
(八木中学校より写真提供)

◆事業の効果について

～みんなのレシピで家族やまちを元気にしてみませんか～を作品募集の呼びかけとし、学校・栄養教諭の連携と協力のもと417作品もの応募があった。(令和2年度に比べ1.9倍の応募数)コロナ禍の中、市内小中学校でも調理をおこなうことが難しくなっており、「生きる力を育む弁当の日」の取組みにおいては、約2年間未実施である。しかし、目的を同じとした本レシピコンテストの実施で、子ども達自身が、メニューの作成から調理、盛り付け、後片付けまでの一連の作業を通し、今後の「生きる力」に繋がったのではないかと感じる。

また、コンテストのみに留まらず応募作品が、給食レシピへの展開に繋がり、ことから子ども達の自信や自己肯定感に繋がる取組みとなった。

◆今後について

令和4年度についても、健幸まちづくり推進協議会をはじめ小中学校、各関係機関と連携をとって実施し、子ども達のレシピを通じて家族・地域・まち全体が健幸となるよう取組をすすめる。